



NPO 狛江さつき会通信

2018年3月31日発行 No.172-00



発行元

NPO 狛江さつき会

〒201-0014
東京都狛江市東和泉 4-1-19-204

TEL/FAX 03-3430-5221
<http://www.satsukikai.org>

郵便振替口座
00140-3-388489

ワークイン・メイ
TEL: 03-3480-8187
may@satsukikai.org

カレーショップ・メイ
TEL: 03-3480-3468
may@satsukikai.org

グループホーム朋
TEL: 03-3480-0955
tomo@satsukikai.org

地域生活支援センター
リヒト
TEL: 03-3480-6656
<http://licht2004.net>

「メイ便り

1瓶
350円です



マーマレード販売開始



今年も季節の夏ミカンを使ったマーマレードが完成しました。メンバー・スタッフが毎週作っています。たっぷりの果汁と夏ミカンの皮を使用し、ジュレのように柔らかく仕上げています。お求めはあいとぴあセンター3階のワークイン・メイ又はカレーショップ・メイにて販売しております。ぜひご賞味ください。

東京都福祉サービス第三者評価を受けました

就労支援事業所メイが今年度東京都福祉サービス第三者評価を受審しました。利用者向けアンケート結果から今回はその一部をご紹介します。

アンケート項目の①「利用者は困った時に支援を受けているか」という項目に関しては、回答された利用者の8割が「はい」と回答があり、自由意見では「優しくバックアップしてくれる」というご意見がありました。

②「事業所の設備は安心して使えるか」という設問には回答された利用者の8割が「はい」と回答、また、

③「利用者同士の交流など、仲間との関わりは楽しいか」という設問には回答された利用者の7割が「はい」という回答を頂きました。他の項目からも全体を通して高い評価を頂き、今後の活動に繋げていきたいと思えます。

就労支援事業所メイ パンフレットのご案内

今回の通信に事業所パンフレットを同封しています。ワークイン・メイ・カレーショップ・メイの2つの事業所のことが詳しく分かるものとなっています。この機会にぜひ2つのメイをお見知りおき下さい。

見学等も随時受け付けております。メイ 03-3480-8187 までご連絡ください。

ショップ便り

9周年記念行事を行いました！

2018年2月10日に9周年記念コンサートを行いました。
歌を歌って下さったのは、お店の常連でもある麻宮さん。今回は廣田さんの優しいピアノと一緒に、息ピッタリの素敵な演奏を披露して下さいました。



誰もが知っている有名な曲から、廣田さんが作曲、麻宮さんが作詞をされたオリジナルの曲も披露して頂き、お客様も手拍子で盛り上げて下さいました。また手話付きの歌もあり、優しく丁寧な音色に感激されたお客様もいらっしゃいました。会場には35人のお客様がお越し下さり、楽しんで頂けたようでした。当日はお店からの年賀状か配布したカードを持参して頂いたお客様に記念品のミニタオルをお配りし、演奏会参加の方にはメイのケーキをお土産にお渡ししました。

【メンバーの感想】

30分程の短いコンサートでしたがプロの音楽が聴けてとても贅沢な時間でした。
カレーを食べに来て下さる常連さんでもある方の違うお顔を見られて嬉しく思いました。

グループホーム朋からの便利

2017(平成29)年度

グループホーム朋 事業報告会

第1部 講演会『最近の精神科医療の動向』

講師：喜多見メンタルクリニック 院長 小熊魅香 氏

第2部 グループホーム朋事業報告会『通過型グループホームの支援』

グループホーム朋・世話人発表

開催日：2018年1月16日(火) 時間：14:00～16:30(休憩10分) 場所：カレーショップ・メイ

参加者：26名(講師1名、当事者6名、家族5名、一般2名、関係者12名)

講演会：「最近の精神科医療の動向」講師：喜多見メンタルクリニック院長 小熊魅香 氏

小熊先生には今年度から顧問医として関わっていただいています。今回の講演にもご快諾いただき、大変感謝しています。

先生からは

- ① 「わたし、もしかして発達障害かもしれない」
- ② すずむ高齢化社会！65歳以上の4人に1人は認知症？
- ③ 慢性疾患の「長期入院」から地域での生活へ。
- ④ 薬物療法多剤併用の時代は終わるのか？

というトピックをあげてお話しいただきました。いずれもトレンドを押さえた情報で、大変わかりやすい内容でした。興味のある方には当日の資料を差し上げます。グループホーム朋職員までお問い合わせください。

グループホーム朋事業報告会『通過型グループホームの支援』を終えての感想です

理事長 三島瑞子

カレーショップメイでの報告会には、グループホームの利用者や、当事者、家族会、メイの職員の参加が多く、「朋」からの発信が直接の関係者に向けられていることがよくわかった報告会でした。

NPO狛江さつきは、家族会創立の時「精神障がい者が市民の一人として、地域の中で生活することを目的とする。」としています。

その当時は、入院にあたって、退院後の生活をイメージして入院生活を過ごすことはありませんでした。現在では、入院すると、治療者と退院後の生活をイメージして、入院に至った経過の振り返り、病状の回復の見通しをもって入院生活を送ることとなっています。

NPO狛江さつき会の理念は、「一人ひとりの障がいを尊重しながら、主に生活障がいを抱えている人へ自立の支援をします。誰もが一人の市民として尊重される共に生きる社会の実現を目指します。」としています。

精神疾患にかかることが一般的な病気にかかる時と同じように認識されるのであれば、あえて、一人の市民として尊重される社会という必要はないと思われます。しかし、精神保健福祉士の業務指針には、精神障がい者の復権を支援するとしています。

グループホーム朋は、生活障がいの生活のスキル支援をしながら、人間としての尊厳の復活(エンパワメント)を進め必要な支援はできるだけ使って地域で生活できるように支援をしています。入居の時から一人ひとりに寄り添いながら、限られた期間のうちに退居するときのイメージを利用者と職員が共有することが重要視されてい

ます。そのことが職員間でも共有されています。

支援のプロセス、入居の時の入り口から（長門職員）日常での職員支援者のありよう（鈴木職員）交流室（湯川職員）退居後の関係機関、関係者との連携（松川施設長）

一人ひとりそれぞれ特徴があって面白いのですが、一貫した姿勢が貫かれていて支援が明確でわかりやすく示されていました。

特に印象が強かったのは、交流室での利用者同士のやり取り、先輩の利用者がグループホームで得たことを後輩に話し、経験からくる力強さの影響を報告されていました。交流の中でこそ得られる自尊感情、可能性があると思われました。職員との関係で得られる生活のスキルはたくさんあると思われそうですが、その人が持つ特殊な生活のしづらさなどは利用者同士の中での自由な話し合いの中でなければなかなか気づきにくいものではないかと思われました。・・・利用者間での交流が気づきの機会となり自発性を育てると思われます。

リヒトの地域生活安定化事業地域移行促進事業との連携にも大事な役割を果たしました。これからの地域包括支援事業に向かいますますグループホームの存在は重要性を増してくると思われそうです。

施設長 松川 裕子

2018年度グループホームの新しい類型として「日中サービス支援型グループホーム」が新設されます。これまでのグループホームは、朋を含め、日中活動を行っている方を対象に支援するサービスだったのですが、高齢や障がいのため日中活動が思うようにできない方にもサービスを提供できるよう、新しいグループホームの類型が作られたのです。

現在 NPO 狛江さつき会で新型グループホームの導入は検討していませんが、今後、より手厚い支援を必要とする方へのサービスの提供について考えていかなければならない状況です。

このたび、東京都独自の施策としての通過型グループホームの支援を改めて考える機会を持ち、地域で暮らすことの素晴らしさと困難さを感じました。一人ひとり、一つひとつ個性も課題も違います。一緒に考え、悩みや喜びを共有しながら、それぞれの暮らしが豊かに広がっていくことに少しでもお手伝いできればと願っています。

鈴木 真紀

沢山の方がお見えになったことは嬉しかった。喜多見メンタルクリニック院長の小熊医師による最新医療の動向の話は、発達障害について、認知症治療の新薬、向精神薬の多剤併用から減薬傾向の話、長期入院から地域生活への移行という様々な話題をまとめていただいて興味深い話を伺えた。

湯川 百合子

事業報告会の発表の機会を与えて頂いて3ヶ月が経ちます。自分が抱えている以外の問題を報告会を通して、GHの全体のテーマ、方向づけの自分なりのヒントとなることができました。通過型という与えられた時間の中で入居者の大切な時間に、ニーズに合わせた支援を行っていきたいと思いました。

長門 武

通過型グループホームは3年間という期間に、利用者の方が自分らしい生き方を見つけ退居していかなければなりません。3年間は長いようであるという間に過ぎていきます、自分はその一助になれたかどうか改めて考える良い機会となりました。入居者の方同士の助け合いをただ見守るばかりのときもあり、緊急対応で出かけたこともあり、これからは様々なことがあると思えます。ただ今後も利用者の方が幸せだと感じられるような人生を歩んでいけるよう、何か自分が出来ることがあれば幸いです。

NPO 狛江さつき会理事会議事録

—平成29年度第6回—

日時 平成30年3月9日(金) 17:30~19:30

出席 三島、高橋、森澤、安藤、金澤、松川(理事)、神野、加藤(監事) 委任 櫻井(理事)

<報告>

1・各事業所から

メイ…利用者39名 見学者1名 退所者1名

平均工賃1月4,887円・2月4,930円 一時金5,747円

ショップ売上 1月229,820円(前年比74%) 2月246,700円(前年比87%)

1/23(火)第三者評価結果報告

2/10(土)カレーショップ9周年記念コンサート開催

2/15(木)梅見 羽根木公園

3/8(木)狛江市役所にて自主製品販売

◆4/27~6/7 あいとびあ改修工事のため401会議室に移動して活動予定

朋…利用者10名(定員11名) 新規入居者1名

1/16(火)事業報告会実施

リヒト…地域移行支援利用者0名 計画相談利用者137名 地域定着支援事業利用者20名

フリースペース登録者67名 地域安定化支援事業利用者7名

◆3/12~4/26 あいとびあ改修工事のため講座室に移動して活動 4/19~26 フリースペース閉所予定

2・事務局より

カレーショップ店舗賃貸契約を更新(5年)

グループホーム賃貸契約を更新(モトハウス5年、アムール2年)

人事:中居 克 氏(リヒト)、田中強志 氏(メイ)3/31付退職 産休:1名(リヒト)

3/25年度末手当を支給

3・関係団体より

◆狛江さつき会(家族会)1/30(火)創立30周年記念新年交流会実施

◆狛江さつき会(家族会)2/20(火)多摩草むらの会施設見学実施

<協議検討事項>

1・人事…非常勤職員 長瀬佐苗 氏 採用(カレーショップ) 【承認】

2・2018年度事業計画案・予算案【承認】

3・グループホーム朋における事故報告【承認】

4・法人中長期計画について具体的に検討していくことを確認

以上

次回理事会:平成30年5月11日(金) 17:30 カレーショップ・メイにて開催予定

NPO 狛江さつき会 4月・5月の予定

(法)＝法人 (リ)＝リフト (メ)＝就労支援事業所メイ (ワ)＝ワークイン・メイ
(カ)＝カレーショップ・メイ (GH)＝グループホーム朋

2018年4月

February

日	月	火	水	木	金	土
1	2 (メ)花見	3	4	5	6 (法)17:00事務局会議	7
8	9 (リ)4/9-4/26まで引越作業の為閉所(3階へ)	10	11	12	13	14
15	16 (リ)スタッフ研修の為閉所	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27 (メ)4階引越の為閉所	28
29 昭和の日	30 振替休日					

2018年5月

March

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 建国記念日 (メ)閉所	4 みどりの日	5 子どもの日
6	7	8	9	10	11 (法)17:30理事会	12
13 母の日	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24 (リ)閉所	25	26
27	28	29	30	31		